

信楽園病院だより

第78号 平成19年9月1日 発行

〒950-2087 新潟市西区新通南3丁目3番11号 Tel 025-260-8200 FAX 025-260-8199

E-mail main@shinrakuen.com ホームページアドレス www.shinrakuen.com

11月14日が国連認定の「世界糖尿病デー」に

内科部長 高澤 哲也

日本では、現在糖尿病の患者数は740万人と推計されています。一方全世界では2億4600万人いると考えられており、さらに2025年にはおよそ3億8000万人に増加すると、国際糖尿病連合（IDF）は予想しています。今後20年のうちに主に増加する国は、低所得国と中所得国の国民と予測されているのです。もはや先進国の贅沢病とは言えません。

米国の糖尿病患者クレア・ローゼンフェルドさんは、17歳だった2004年夏にバングラデシュなどを旅し、そこで見た適切な医療を受けられずに苦しんでいる糖尿病の人々の現状を日記にして出版。それをきっかけに、IDFが世界各国に働きかけ2006年6月よりUnite for Diabetes（糖尿病に対して団結しよう）というキャンペーンを行い、国連総会に対し糖尿病の撲滅を目指す決議を求めました。その結果、2006年12月20日の国連総会にて決議が採択され、今年から11月14日が国連認定の世界糖尿病デーとなります。国連総会での決議請求から6ヶ月間での採択は異例の早さです。今までエイズをはじめとするいくつかの疾病の決議が行われましたが全て感染症で、非感染症では初めてです。

Unite for Diabetes のロゴマークは青い輪（図）ですが、世界を結びつける青空をイメージしています。



unite for diabetes